

意見表明

3月14日の予算審査特別委員会では、5分科会の審査概要について報告が行われた後、5人の委員が会派を代表して意見表明を行い、採決の結果、各会計予算を原案どおり可決しました。各会派の意見表明の概要は次のとおりです(通告順に掲載)。

※健全化判断比率: 1年間の収入に対する赤字額や借金残高の割合を示した4つの比率の総称

1 公明党千葉市議会議員団

厳しい財政状況が続く中での取り組みを評価(賛成)

財政状況が依然厳しい中、市民生活に密着した施策の推進とともに、将来を見据えたまちづくりへの取り組みも確認できました。一方で、財政健全化への取り組みを進め、さらに、市民の意見・要望を集約した我が会派の要望に対する一定の取り組みも認められ、評価します。厳しい財政状況が続く中、一層の市民福祉の向上とともに魅力ある都市としての発展を目指し、全力で取り組まれることを要望します。

2 日本共産党千葉市議会議員団

不急の大型開発を見直し、市民の願いに寄り添った予算を(反対)

市長には、国の悪政に立ち向かい、市民の暮らしを守る姿勢がみられず、新年度予算では、財政危機打開のため犠牲にしてきた市民への思いやりが欠落し、福祉の増進に背を向ける一方で、大型開発を次々と事業化しています。さらに、繰り返される不祥事により市民の信頼を損ねていることから、新年度予算案に反対し、エアコン整備など市民の願いに寄り添った予算に組み替えることを求めます。

3 市民ネットワーク

事業費の十分な精査や、的確な予算配分を評価(賛成)

一般会計予算は過去最大規模ですが、新たに策定する第3次実施計画の初年度として、事業費の十分な精査等がされています。財政健全化に向けた着実な運営は評価しますが、病院事業は抜本的な経営改革が必要です。新年度予算案に対しては、引き続き財政健全化に取り組み、行政改革を推進すること、将来にわたって持続的に発展するための施策に重点配分されていることから、賛成します。

4 自由民主党千葉市議会議員団

財政健全化の推進とともに、より豊かな暮らしの実現を(賛成)

市民要望に応える施策がおおむね盛り込まれているとともに、財政健全化に向け、一定の前進がなされています。しかし、健全化判断比率※は他政令市に比べ高い水準であり、国民健康保険事業や病院事業で累積赤字が残るなど、今後も財政健全化が必要な状況です。このため、市民理解を得ながら、着実な取り組みを推進し、より豊かな暮らしの実現に向けて努力するよう要望します。

5 未来民進ちば

財政健全化を堅持しつつ、未来の発展につながる投資を評価(賛成)

「脱・財政危機」宣言を解除した今後も、財政健全化に向けた取り組みを堅持しつつ、未来の発展につながる投資については的確な財政措置が必要とされる中、新年度予算では、賑わいの創出や税源の涵養につながる事業に、時期を逃さず取り組んでいます。引き続き緊張感を持ち、市民誰もが、真に「夢と希望を育み、生涯を託していける」郷土千葉市を目指し、市政運営に当たるよう要望します。

市長に提出した指摘要望事項

5つの分科会審査の結果、まとめられた10項目の指摘要望事項を市長に提出し、市政運営に反映させるとともに、反映状況の報告を求めました。

1 財政運営 については、脱・財政危機宣言が解除されたものの、依然として主要債務総額や市債残高は多額に上るなど厳しい状況に置かれていることから、少子超高齢社会を見据え、財政需要を的確に捉えた予算執行に留意するとともに、財政健全化プランに掲げる主要目標の達成に向けた取り組みを着実に推進し、引き続き財政健全化が図られるよう努められたい。



2 選挙管理事務 については、投票率向上に取り組まれているものの、各選挙の投票率は低下傾向にあることから、学校等と連携して、若年層に対する主権者教育や選挙啓発を推進するとともに、期日前投票者数は増加傾向にあることに鑑み、期日前投票の拡充を図るなど有権者の利便性をさらに高めることにより、投票率の向上に努められたい。

3 介護人材 については、高齢化の進展による介護需要の拡大や過酷な労働環境による人手不足が喫緊の課題であることから、外国人介護人材を活用する事業者に対する支援などにより、多様な人材の参入を促進するとともに、介護ロボットの普及促進などにより、介護職員の負担軽減や離職防止にも取り組まれたい。



4 消防広報 については、複雑多様化する災害に適切に対処するための消防体制の構築に向けて、消防の魅力の発信による優秀な人材確保や火災予防の効果的な周知・啓発などを図るため、より充実した広報戦略の確立に取り組むとともに、今後は自助・共助・公助の有機的なつながりによる地域防災力の強化が重要なことから、市民に身近な消防行政の実現に向けて、市民の深い理解と協力が得られるよう、広報の有効活用に努められたい。

5 中央区役所の移転 については、移転及び美術館改修工事の費用の圧縮に努めることはもとより、利用者の利便性の向上にも意を用いられたい。

美術館については、本市の文化力の強化に向けた美術館のあり方を明確にし、その魅力をさらに高められたい。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック開催を好機と捉え、収蔵品の拡充を図り、海外からの来訪者にも認められる施設となるよう努められたい。

6 有害鳥獣対策 については、イノシシなどによる農作物への被害が頻発しており、今後さらに市街地への生息域の拡大が危惧されることから、効果的な対策を調査研究するとともに、引き続き、関係部局と連携し、農作物の防護や迅速な捕獲活動などによる被害の抑制に取り組まれたい。



7 児童相談所 については、児童虐待が増加傾向にあることから、メールやSNSなど身近なツールを活用した多様な相談体制を構築するなど、虐待のさらなる早期発見につなげる施策を講ずるとともに、一時保護が子供たちの緊急避難としての機能を遺漏なく確実に果たせるよう、施設環境整備や職員配置などハード・ソフトの両面において十分な体制の確保に努められたい。



8 加曽利貝塚 については、発掘調査による調査研究や縄文体験など種々の取り組みにより、特別史跡としての価値と魅力をさらに高めることはもとより、より多くの市民に史跡に関心を持ってもらえるよう、市民意見を取り入れた創意工夫のあるPR活動を行い、一層の魅力向上が図られるよう努められたい。

9 中央公園・通町公園の連結強化

については、いまだに事業費を含む計画の全体像が示されていないことから、集客や回遊性の向上によるにぎわいの創出に向けて、事業の効果を見きわめながら早期に具体的な計画を策定し、公表されたい。



10 路面標示 については、各所で劣化が見受けられることから、定期的なパトロールはもとより、市民や事業者等の協力を得て該当箇所を把握し適切に補修するとともに、停止線や横断歩道等についても、所管する千葉県公安委員会と連携・協力して補修することにより、通行する市民の安全・安心の確保を図られたい。